



←学校 HP にアクセスすれば、カラー版が見られます。

榎原小学校 学校だより

まきはら

2022年度 No.12

令和5年2月28日発行

令和5年3月 5日回覧

柏崎市春日3丁目4番31号

TEL 0257-22-4090

春は必ずやってくる



今シーズンの冬は、大雪による臨時休業や突然の降雪に戸惑うことが幾度もありました。しかし、暖かさを感じる時が徐々に増え、除雪の際に体育館脇に高く積み上げられていた雪の山もあとわずかで姿を消しそうです。待ちに待った春の訪れです。

よく雪国の人は辛抱強いと言われます。寒く厳しい冬を経験することで辛抱強くなるというところでしょうか。しかし、ただ単に辛抱する、我慢しているわけではないのだと思います。厳しかった冬の後には、暖かな春が必ずやってくるからがんばれるのだと思います。以前、雪深い魚沼地方で勤務した経験がありますが、人々は雪に負けないよう、日歩除雪に勤しんでおられました。また、2m近くある雪がだんだんと消えていき、雪の割れ目からふきのとうを見つけたときの喜びは、柏崎で見た時よりも大きかったことが思い出されます。そして、たくさん積もった後の雪解け水がおいしい米につながることも地域の人たちは知っています。

これまで3年間続いたコロナ禍も見方を変えると、厳しい冬、我慢の冬の期間でした。そして、マスク着用の緩和や感染症法上での分類が2類から5類への移行は、待望の春とも言えます。学校でも、感染状況に留意しながら引き続き感染予防を行ってまいります。

さて、先日、柏崎日報の「柏崎抄」に次のような記事を見付けました。

（前略）三階節は、かつて集落などで歌われたものなどを含めると、その文句は実に300以上になるという。その中に「春日白瓜 橋場まくわ ぞうじ 上原つびなす さてまた下原青南瓜」とある。野菜の名前を歌に盛り込むとは粋なことだ。

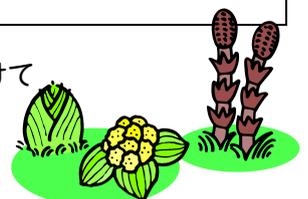
瑞穂地区が野菜どころだったことがうかがえる歌詞だと思いながら読み進めていると、かしわざき市民大学講座の「柏崎の食の魅力を再発見～伝えたいふるさとの豊かな食文化～」の話題となり、「刈羽節成きゅうり」のことが書かれていました。そして、榎原小学校の6年生が菜々彩工房の方で行った交流会のことが紹介され、文末は次のように結ばれていました。

（中略）キュウリの成長はもとより、苗植えのときに会った児童がわずかの期間にすくすく育った様子を見て、ほほ笑ましくなった。最高学年として、巣立つ日はもうじきかと思うと、感慨深かった。

柏崎日報 2月21日(火)号より

さあ、明日から3月。6年生は卒業・進学に向けて、1～5年生は進級に向けて有終の美を飾れるよう、教職員一同力を合わせて指導・支援してまいります。

（校長 小田麻由美）



まきの子アルバム

寒さに負けず、元気です！



1年生 生活科「雪遊び」



2年生
生活科（保健）
「自分物語～赤ちゃんの頃～」



3年生「初めてのスキー教室」



4年生「6年生を送る会の準備」



5年生「委員会の引継ぎ」



6年生「瑞穂中学校説明会」

<3月の主な行事予定>

1日(水) 全校朝会
3日(金) 6年生を送る会
学年末 PTA・PTA 引継ぎ会
15～22日 6限なし(5限放課)
17日(金) 地区児童会・集団下校
21日(火) 春分の日



22日(水) 卒業式～児童の部～
給食最終日
23日(木) 終業式・4,5年弁当
24日(金) 卒業式
25日(土) 春休み(～4/6)
27日(月) 離任式

<お願い>

暖かくなってきて、子どもたちの屋外での遊びが増えてきます。

危険な姿を見かけた時には、声を掛けるなど、見守りをお願いいたします。

